

分野（領域）	基礎分野	科目名	哲学
単位（時間）	1 単位（15 時間）	開講時期	1 年次 前期
講師名 （時間・所属）	中里理子（15 時間・佐賀大学 教育学部 教授）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>人とはどういうものか、生死にかかわることなど看護職としての基礎知識が必要である。そのため人間の本質を追求し、人間尊重、人間存在の意味を考え、生きることの意味を理解する必要がある。また、倫理観を養う必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>人間の存在の意味やどう生きるかを考えることで、人間の存在価値や生命の尊厳、よりよく生きることを考えることができる。</p> <p>医の倫理につなげられるような基礎的な倫理観を養う。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間はどういう存在か</li> <li>2. 人間の生命とその真価</li> <li>3. 真の愛とは</li> <li>4. 生老病死とは</li> <li>5. 医と倫理 <ul style="list-style-type: none"> <li>死生観、病名告知、人工授精</li> <li>脳死・臓器移植、安楽死、尊厳死、意識障害</li> </ul> </li> <li>6. 生命の尊厳と人間科学</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>自分を知るための哲学入門 武田青紀嗣 ちくま学芸文庫 講師の資料</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了時にレポート等で評価する。</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	論理学
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期
講師名 （時間・所属）	達富 洋二（30 時間・佐賀大学 教育学部 教授）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>人間がものを考えたり、お互いに意思を伝えたりするときに媒体となるのは言葉である。そのため表現内容を論理的に整えることが重要であり、論理学を学ぶ必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>物事の関連性を考え、筋道を立てるといふ論理的思考を学び、相互理解を助けるコミュニケーションにおいて、他者の考えや意見を正しく解釈する能力、自分の考えや意見を表現できる能力を養う。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理的思考とは</li> <li>2. 聴く力、思考過程、表現力、伝達力</li> <li>3. 思考過程の文章表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の使い方</li> <li>・論文の書き方</li> </ul> </li> <li>4. レポートの書き方</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>講師の資料あり</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後、レポートで評価する</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	情報科学(基本知識・操作)						
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期						
講師名 （時間・所属）	高崎 光浩（15 時間・佐賀大学 全学教育機構 准教授） 堤 大樹（15 時間・佐賀コンピュータ専門学校 講師）								
<p>&lt;科目設定理由&gt;  情報社会に対応するため、情報科学に関する知識や倫理、情報管理など基礎的なパソコン技術を習得する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;  情報科学の基礎的知識、情報の活用方法や情報管理について学び、看護研究・看護活動に活用できる能力を養う。  看護研究に応用できるパソコンの基本操作を習得する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 情報科学の理論  ・パソコンの基礎的知識  ・情報管理及び倫理  ・個人情報保護  2. 看護研究における文献検索  3. パワーポイントでのプレゼンテーション  4. インターネットの活用  5. 病院等の情報システム  6. パソコンの基本操作  ・Word・Excel の使い方 </td> <td style="width: 5%; vertical-align: middle; text-align: center;"> } </td> <td style="width: 45%; vertical-align: middle; text-align: center;"> 高崎 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;"> } </td> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> } </td> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 堤 </td> </tr> </table>				1. 情報科学の理論 ・パソコンの基礎的知識 ・情報管理及び倫理 ・個人情報保護 2. 看護研究における文献検索 3. パワーポイントでのプレゼンテーション 4. インターネットの活用 5. 病院等の情報システム 6. パソコンの基本操作 ・Word・Excel の使い方	}	高崎	}	}	堤
1. 情報科学の理論 ・パソコンの基礎的知識 ・情報管理及び倫理 ・個人情報保護 2. 看護研究における文献検索 3. パワーポイントでのプレゼンテーション 4. インターネットの活用 5. 病院等の情報システム 6. パソコンの基本操作 ・Word・Excel の使い方	}	高崎							
}	}	堤							
<講義の進め方> 講義 演習～情報管理室 パソコン操作他									
<受講要件> なし									
<テキスト> 30 時間でマスターOffice2010 Windows 7 対応 実教出版									
<参考文献> なし									
<評価方法> 講義終了後の試験・レポート等によって評価し、結果を加重平均									

分野（領域）	基礎分野	科目名	情報科学(統計処理)
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～ 後期
講師名 （時間・所属）	瀧川 真也（30 時間・佐賀大学 教育学部 教授）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;</p> <p>情報社会に対応するため、情報科学における統計処理について理解し、看護に応用できる基本的理論を学ぶ必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;</p> <p>統計学の意義・統計資料作成の基礎を学び、データの収集や解析について理解する。 看護研究に応用できる統計処理について理解する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統計とは</li> <li>2. 研究データの収集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問紙作成</li> <li>・データ入力</li> </ul> </li> <li>3. データの解析 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの整理</li> <li>・確率と分布</li> <li>・検定</li> </ul> </li> </ol>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;</p> <p>講義 演習～情報管理室</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt; テキスト &gt;</p> <p>意味が分かる統計解析 ベレ出版</p>			
<p>&lt; 参考文献 &gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt; 評価方法 &gt;</p> <p>講義終了後の試験で評価</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	心理学
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期
講師名 （時間・所属）	牧 正興（30 時間・久留米大学人間健康学部教授 臨床心理士）		
<p>&lt;科目設定理由&gt; 人間の心理と行動の関連を理解し、人間理解を科学的に思考するため心理学を学ぶ必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt; 人間の行動の意味を知ることによって心理的側面からの人間理解を深め、よりよい人間関係を築くための基礎的知識を理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知覚と思考</li> <li>2. 感情と情緒</li> <li>3. 自我と自己</li> <li>4. 人格形成</li> <li>5. 発達心理</li> <li>6. 適応</li> <li>7. カウンセリング</li> <li>8. 現代社会と人間行動</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt; 講義 演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt; なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt; 心理学 メヂカルフレンド社</p>			
<p>&lt;参考文献&gt; なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt; 講義終了後、レポート等で評価する</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	社会学
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期 ～後期
講師名 （時間・所属）	畑山 敏夫（30 時間・元佐賀大学経済学部教授 名誉教授）		
<p>&lt;科目設定理由&gt; 社会的なものの方や考え方を学び、人間を社会的側面から理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt; 生活者としての人間を取り巻く社会について学び、人間を社会的側面から理解する。 多様な価値観の中で幅広いものの方ができる能力を養い、現代社会の状況について考えることができる。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健医療と社会学</li> <li>2. 健康・病気と社会</li> <li>3. 性・ジェンダー・家族と保健医療</li> <li>4. 現代社会における諸問題</li> <li>5. 家族のコミュニティ機能と役割</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>家事労働ハラスメント 岩波新書</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義終了後、レポートで評価する。</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	生物学
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	北垣 浩志（30 時間・佐賀大学 農学部 教授）		
<p>&lt;科目設定理由&gt; 生命体としての人間、環境との関連で相互作用している人間を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt; 生命の起源、進化、遺伝のしくみを理解することで生命の神秘にふれ、生物と環境との相互作用を理解することで生態系の中の人間を理解する。 また、生命体としての人間としてとらえる重要性を理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命体の構造</li> <li>2. 生命維持のエネルギー</li> <li>3. 生態を維持するしくみ</li> <li>4. 生命の情報機構</li> <li>5. 生態の自立的調整</li> <li>6. 生態のしくみと固体の発生</li> <li>7. 遺伝情報の伝達</li> <li>8. 生命の起源と進化</li> </ol>			
<p>&lt;講義の進め方&gt; 講義 演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt; なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt; 医療・看護系のための生物学 裳華房</p>			
<p>&lt;参考文献&gt; なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt; 講義終了後の試験で評価する</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	人間学（人間関係）																	
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～後期																	
講師名 （時間・所属）	池田 知子（26 時間（宿泊研修 20 時間＋講義 6 時間） 西九州大学大学院 非常勤講師 臨床心理士） 藤井 佑介（4 時間・長崎大学大学院 教育学研究科 准教授）																			
<p>&lt;科目設定理由&gt; 看護を实践するうえでは、人間を理解し、看護の対象とその家族、またそれらを取り巻く人々との人間関係を構築する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt; 人間を身体的・社会的・精神的・スピリチュアルな側面が統合された生活体と捉え、生命尊重の重要性について考えることができる。 人間と人間の相互関係やその成り立ち、社会的相互作用を理解し、よりよい人間関係・効果的な人間関係を築くための基礎的技術を理解する。また、チーム医療やソーシャルサポートとの人間関係の重要性について理解する。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 生命の尊重</td> <td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">池田</td> </tr> <tr> <td>2. 人間存在と人間関係</td> </tr> <tr> <td>3. 社会的相互作用と社会的役割</td> </tr> <tr> <td>4. 人間関係の研究と応用</td> </tr> <tr> <td>5. 人間関係の向上へのスキル 体験学習プログラム</td> </tr> <tr> <td>6. 保健医療チームの人間関係</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">藤井</td> </tr> <tr> <td>7. 生活を支える人間関係</td> </tr> <tr> <td>8. 終末期の患者と家族を支える人間関係</td> </tr> <tr> <td>9. 家族の人間関係と看護師の関わり</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">池田</td> </tr> <tr> <td>10. ソーシャルサポートをめぐる人間関係</td> </tr> <tr> <td>11. ノーマライゼーションを育む人間関係</td> </tr> </table>				1. 生命の尊重	}	池田	2. 人間存在と人間関係	3. 社会的相互作用と社会的役割	4. 人間関係の研究と応用	5. 人間関係の向上へのスキル 体験学習プログラム	6. 保健医療チームの人間関係	}	藤井	7. 生活を支える人間関係	8. 終末期の患者と家族を支える人間関係	9. 家族の人間関係と看護師の関わり	}	池田	10. ソーシャルサポートをめぐる人間関係	11. ノーマライゼーションを育む人間関係
1. 生命の尊重	}	池田																		
2. 人間存在と人間関係																				
3. 社会的相互作用と社会的役割																				
4. 人間関係の研究と応用																				
5. 人間関係の向上へのスキル 体験学習プログラム																				
6. 保健医療チームの人間関係	}	藤井																		
7. 生活を支える人間関係																				
8. 終末期の患者と家族を支える人間関係																				
9. 家族の人間関係と看護師の関わり	}	池田																		
10. ソーシャルサポートをめぐる人間関係																				
11. ノーマライゼーションを育む人間関係																				
<p>&lt;講義の進め方&gt; 講義 演習～宿泊研修 20 時間</p>																				
<p>&lt;受講要件&gt; なし</p>																				
<p>&lt;テキスト&gt; 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院</p>																				
<p>&lt;参考文献&gt; なし</p>																				
<p>&lt;評価方法&gt; 池田：講義・演習（宿泊含む）終了後にレポートで評価する。 藤井：評価なし</p>																				



分野（領域）	基礎分野	科目名	人間学（コミュニケーション）							
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～後期							
講師名 （時間・所属）	五十嵐 雄道（14 時間・円光寺 住職） 藤井 佑介（8 時間・長崎大学大学院 教育学研究科 准教授） 浦田 侑志（8 時間・佐賀市社会福祉協議会 社会福祉士）									
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>人間関係構築のためには、自己の成長に真摯に取り組み、他者との関わりを大切に し、尊重する心を養うとともに、コミュニケーション能力を養う必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>自己理解と他者理解の基礎を理解し、個人を尊重することのできる温かい心・思いやる 心と感性を養う。また、よりよい人間関係を築くため多様化する価値観やライフスタイル を理解し、コミュニケーション力を習得する。</p> <p>ボランティア活動の精神・現状を知り、自ら体験することで、人への関心と相手を大切 にする心を養う。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自己開示、他者受容（傾聴・共感）</li> <li>2. コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング</li> <li>・ヒューマンコミュニケーション</li> <li>・ソーシャルコミュニケーション</li> </ul> </li> <li>3. ボランティア活動の精神・現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神とは ボランティアリズム・人間・命への優しさ</li> <li>・ボランティア活動の意義</li> <li>・行政制度とボランティアの役割</li> <li>・ボランティア活動の現状と課題・実際</li> <li>・感性豊かな人間性</li> <li>・育つ・育てる</li> <li>・人類のいのち（生と死）、スピリチュアル（生きる意味）</li> <li>・人間の存在自体の尊重</li> <li>・自然環境の中で命を愛しむ心</li> <li>・世話をすることの意味（心かける）</li> </ul> </li> </ul> </td> <td style="vertical-align: middle; font-size: 2em; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">藤井</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle; font-size: 2em; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">浦田</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle; font-size: 2em; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">五十嵐</td> </tr> </table>				<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自己開示、他者受容（傾聴・共感）</li> <li>2. コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング</li> <li>・ヒューマンコミュニケーション</li> <li>・ソーシャルコミュニケーション</li> </ul> </li> <li>3. ボランティア活動の精神・現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神とは ボランティアリズム・人間・命への優しさ</li> <li>・ボランティア活動の意義</li> <li>・行政制度とボランティアの役割</li> <li>・ボランティア活動の現状と課題・実際</li> <li>・感性豊かな人間性</li> <li>・育つ・育てる</li> <li>・人類のいのち（生と死）、スピリチュアル（生きる意味）</li> <li>・人間の存在自体の尊重</li> <li>・自然環境の中で命を愛しむ心</li> <li>・世話をすることの意味（心かける）</li> </ul> </li> </ul>	}	藤井	}	浦田	}	五十嵐
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自己開示、他者受容（傾聴・共感）</li> <li>2. コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング</li> <li>・ヒューマンコミュニケーション</li> <li>・ソーシャルコミュニケーション</li> </ul> </li> <li>3. ボランティア活動の精神・現状について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神とは ボランティアリズム・人間・命への優しさ</li> <li>・ボランティア活動の意義</li> <li>・行政制度とボランティアの役割</li> <li>・ボランティア活動の現状と課題・実際</li> <li>・感性豊かな人間性</li> <li>・育つ・育てる</li> <li>・人類のいのち（生と死）、スピリチュアル（生きる意味）</li> <li>・人間の存在自体の尊重</li> <li>・自然環境の中で命を愛しむ心</li> <li>・世話をすることの意味（心かける）</li> </ul> </li> </ul>	}	藤井								
}	浦田									
}	五十嵐									
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <p>講義 演習：ボランティア活動への参加（4 時間以上） 中学校での生と死の準備教育への参加（13:30～16:00）</p>										
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>										
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院</p>										
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>										

<評価方法>

講義・演習終了後の試験・レポート等で評価し、加重平均する。

浦田：評価なし

分野（領域）	基礎分野	科目名	キャリア論						
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～後期 2・3 年次 前期～後期						
講師名 （時間・所属）	坂井由美子（30 時間・好生館看護学院看護学科 専任教員 看護師）								
<p>&lt;科目設定理由&gt;</p> <p>キャリアを「働くことにかかわる生き方・仕事に取り組むプロセス」と捉え、キャリアを通して自分自身を磨き続けるために、主体的に考え、自律的に行動し、人と関わる力、すなわち社会人基礎力を養う必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;</p> <p>専門的な力を発揮しキャリアを積んでいくために、自分で考える力、問題解決能力、実行力、チームで働く力を養う。</p> <p>また、キャリア形成について知り、自分自身のキャリアについて考えることができる。</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人基礎力とは何か</li> <li>2. ポジティブサイコロジー</li> <li>3. 接遇とマナー</li> <li>4. QFT</li> <li>5. 人生設計とキャリアデザイン</li> <li>6. 社会人になるということ 心構え 求められる能力</li> </ol>									
<p>&lt;講義の進め方&gt;</p> <table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">講義</td> <td rowspan="2" style="border: none; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="border: none;">1 年次 10 時間</td> <td rowspan="2" style="border: none;">2 年次 15 時間</td> <td rowspan="2" style="border: none;">3 年次 5 時間</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">演習</td> </tr> </table>				講義	}	1 年次 10 時間	2 年次 15 時間	3 年次 5 時間	演習
講義	}	1 年次 10 時間	2 年次 15 時間	3 年次 5 時間					
演習									
<p>&lt;受講要件&gt;</p> <p>なし</p>									
<p>&lt;テキスト&gt;</p> <p>なし</p>									
<p>&lt;参考文献&gt;</p> <p>なし</p>									
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>2 年次：レポートにて評価を行う。</p>									

分野（領域）	基礎分野	科目名	医療英語
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	田中 秀文（30 時間・佐賀女子短期大学 非常勤講師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt; 看護を取り巻く専門用語、臨床場面や文献検索の活用の基盤となる医療用英語を理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt; 健康と医療に関する医療用英語について理解し、医療の実際の場面で用いられる英語表現を学ぶ。 また、英語文献の読解力を養う。</p> <p>&lt;講義内容&gt; 1. 医学用英語 2. 看護に関する英語 3. 身体各部の名称、疾患、治療、検査に関する英語 4. 文献の読解</p>			
<p>&lt;講義の進め方&gt; 講義 演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt; なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt; 講師の資料</p>			
<p>&lt;参考文献&gt; なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt; 講義途中・終了時の試験で評価する</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	英会話
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	3 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	Steven Brian Bott（30 時間 佐賀女子短期大学他 非常勤講師）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;  看護現場において国際化に対応できるコミュニケーション能力を養うため、英会話を身につける必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;  基本的な日常会話を中心に、病院内や患者との会話ができるよう英会話の基礎を習得する。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;  1. 日常会話  2. 病院での会話  3. 患者との会話</p>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;  講義  演習</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;  なし</p>			
<p>&lt; テキスト &gt;  なし</p>			
<p>&lt; 参考文献 &gt;  なし</p>			
<p>&lt; 評価方法 &gt;  講義内の試験で評価する。</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	中国語
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次 前期
講師名 （時間・所属）	柴 錦春（30 時間・佐賀大学 理工学部 教授）		
<p>&lt; 科目設定理由 &gt;  看護現場における国際化に対応できるコミュニケーション能力を養うため、中国語を身につける必要がある。</p> <p>&lt; 科目目標 &gt;  コミュニケーション手段としての中国語の初歩的な会話力を身につける。  また、異文化に触れることで国際感覚を身につけ、臨床場面に対応できる能力を養う。</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;  1. 基礎編  ・発音、挨拶、日常会話  2. 応用編  ・病院での会話</p>			
<p>&lt; 講義の進め方 &gt;  講義  演習</p>			
<p>&lt; 受講要件 &gt;  なし</p>			
<p>&lt; テキスト &gt;  決定版 必ず話せる中国語入門 相原茂 主婦の友社</p>			
<p>&lt; 参考文献 &gt;  なし</p>			
<p>&lt; 評価方法 &gt;  講義終了後の試験で評価する</p>			

分野（領域）	基礎分野	科目名	スポーツ
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次 前期～後期
講師名 （時間・所属）	香月 律子（30 時間・佐賀女子短期大学 非常勤講師）		
<p>&lt;科目設定理由&gt;  運動が人間の健康に及ぼす影響を理解し、心身の健全な発達を促すことを理解する必要がある。</p> <p>&lt;科目目標&gt;  運動の実践を通して、健康の保持・増進、心身の健全な発達を促し、ストレス対処等につながることを理解する。  生涯、スポーツを実践するための基礎として、運動の意義および運動技術を学ぶ。</p> <p>&lt;講義内容&gt;  1. ダンス  2. バレーボール  3. ソフトボール  4. ボウリング 等</p>			
<p>&lt;講義の進め方&gt;  講義  演習</p>			
<p>&lt;受講要件&gt;  なし</p>			
<p>&lt;テキスト&gt;  なし</p>			
<p>&lt;参考文献&gt;  なし</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;  講義終了後のレポートで評価する。</p>			